

相乗りタクシー 記者が体験

遠回りでも運賃半額

今月下旬から名古屋市内で相乗りタクシーの実証実験を始める「つばめタクシーグループ」(同市)は6、7の両日、社員や一般モニターらを乗客役にした予行演習をした。人工知能(AI)を使って、利用者同士の相乗りが成立するかや、最適な走行ルート来判断する。記者もスマートフォンでタクシーを呼び、乗客になってみた。(石原猛)



スマホを操作してからしばらく待つと、相乗り用のタクシーが到着した＝名古屋市中区で

相乗りタクシーのウェブサイト
の表示画面



利用するための操作は、想像以上に簡単だった。専用のウェブサイトを開き、表示される地図をタッチして、乗車する場所と目的地を指定する。乗る人数や、迎えに来てほしい時間を選ぶと、何分後に乗車できるか▽目的地への到着予定時刻▽乗り合いした場合と



スマホを操作してからしばらく待つと、相乗り用のタクシーが到着した。名古屋市中区で

表示される地図をタッチして、乗車する場所と目的地を指定する。乗る人数や、迎えに来てほしい時間を選ぶと、何分後に乗車できるか▽目的地への到着予定時刻▽乗り合いした場合と

簡単スマホ操作 / 不具合でキャンセルも

相乗りした男性社員を市役所前で降ろし、順調に中日新聞社に到着した。乗っていた時間は真つすく進むより二三分長い十五分ほど。運賃は本来必要な千二百円のほぼ半額となる六百元で済んだ。

グループ中核のつばめ自動車(天野清美社長は、実証実験のねらいを「より気軽にタクシーを使ってもらい、利用者の裾野を広げるため」と訴える。確かに四割ほど安い料金でタクシーに乗れるのは、魅力的に感じた。

新たなシステムのため、AIから指示を受ける通信端末がエラーを起こし、タクシーの動きが取れなくなるなど、さまざまな不具合に遭遇した。中日新聞社から松坂屋名古屋店へと乗ろうとした際には、二十分近く待たされた揚げ句、「システムの不具合で迎えに行けなくなったので、いったんキャンセルしていただ

ますか」と電話がかかってきた。

システムを開発した大学発ベンチャー「未来シェア」(北海道函館市)の松館渉代表取締役は「二日間のリハーサルで、かなり多くのデータを取れた。利用者にご迷惑が掛からないよう、実証実験までにシステムを改良したい」と強調した。

◇ 実証実験は今月十九日、三月五日の午前八時半から午後四時半まで、名古屋市中区東部の東、千種、昭和、瑞穂、名東、天白の六区内で行い、実験の参加者を募集している。

実験に参加してアンケートに答えると、抽選で千円に、つばめタクシーの千円分のプリペイドカードを贈る。申し込みはホームページを「つばめタクシー 相乗り」で検索。問い合わせは、つばめ交通協同組合事務局＝電052(201)80333へ。